

令和
6年度

白石区ふるさと会／札幌市白石区

PRリーフレット
SAPPORO

白石でっち奉公 奮闘記



白石でっち奉公は、小・中学校の児童・生徒が、実際に就労体験する事業です。

次代の白石を担う子供たちに、地域で働くことを通して、学校や家庭ではできない体験をさせてあげたい。働くことの大切さや楽しさ、ふるさと白石の良さを知ってほしい。そのような想いから「白石でっち奉公」は誕生しました。

平成13年に白石区ふるさと会の主催で始まったこの事業は、「地域で子どもたちを育てよう」という趣旨が広く受け入れられ、現在は白石区ふるさと会と白石区が区内小・中学校と連携して実施しています。令和6年度は10校1,440名の児童・生徒が参加しました。

なお、この取り組みは子どもたちの「キャリア教育」の充実に顕著な業績があったと認められ、白石区ふるさと会は、平成24年度「文部科学大臣表彰」(文部科学省)及び「キャリア教育推進連携表彰」(文部科学省、経済産業省)を受けました。親しまれてきた「でっち奉公」の名称は、現在変更を検討中であることをお伝えします。

令和6年度白石でっち奉公 実施概要

◆実施日・参加校

9月12日	北都中学校	164名(2年生)	11月7日	東白石中学校	158名(2年生)
9月19日	西白石小学校	36名(5年生)	11月8日	白石中学校	153名(2年生)
10月11日	南郷小学校	78名(5年生)	11月13日	米里中学校	127名(2年生)
11月1日	柏丘中学校	227名(2年生)	11月14日	日章中学校	136名(2年生)
11月6日	幌東中学校	165名(2年生)	11月15日	北白石中学校	196名(2年生)

【参加者数】区内小・中学生1,440名 【受入先】区内企業、団体、施設等126社

※ 当日の急な欠席等により参加できなかった生徒を含みます。